

企画展 いまプロレタリア芸術が面白い！

知られざる昭和の大衆文化運動

いまあつと

大正末期から昭和戦前期は「大衆」の時代でした。中でも1920年代初頭から30年代前半にかけて「プロレタリア文化運動」と呼ばれる大衆運動が盛んになり、全国各地で無名の労働者や農民たちが運動に参加しました。

この運動は、社会主義・共産主義思想の影響を受けつつ、芸術活動を通してプロレタリアート（労働者階級）の待遇改善や戦争反対などを主張し、生活に根ざした文化の創造を希求するものでした。

この小樽で成長した小林多喜二は、「プロレタリア文学」の作家として知られていますが、当時の運動は文学だけではなく、演劇・美術・音楽・映画など、さまざまな分野にまたがって展開された総合芸術運動でした。

特に、「プロレタリア演劇」の勢いはすさまじく、多くの観客が劇場・芝居小屋に足を運びました。演劇以外にも、全国各地で美術展や映画会・音楽会が開催されたり、読書サークルが作られたりしました。数万、あるいはそれ以上の人々がこうした「プロレタリア芸術」の受容者となり、時にはこれを広めようとする運動に積極的に参加していったのです。

こうした広範囲に及ぶ大衆文化運動の中では、実に多くの「ピラ」や「チラシ」、「ニュース」、「パンフレット」などが作成されました。本展は、そうした貴重な歴史資料を数多く収集した『昭和戦前期プロレタリア文化運動資料集』（丸善雄松堂2017年）の刊行をきっかけとして企画されました。本館の池田壽夫旧蔵資料に加え、故浦西和彦氏所蔵（現在日本近代文学館所蔵）、法政大学大原社会問題研究所所蔵、札幌大学図書館所蔵の文化運動資料が一堂に会するまたとない機会です。

大衆文化運動を支えた無名の人々の熱い息づかいを、これらの展示資料の行間からお感じいただけますと幸いです。

本展覧会の開催にあたり、格別のご高配を賜った所蔵機関および関係各位に、心よりお礼申し上げます。

（主催者）

展示構成

- 第1章 一枚のピラから見えてくる「新たな世界」
- 第2章 メディアの中の小林多喜二
- 第3章 大衆を動員せよ！プロレタリア演劇運動
- 第4章 赤い筆—プロレタリア美術運動—
- 第5章 運動の最前線—地方でたたかう人々—
- 第6章 子供—未来の闘士たち—
- 第7章 残された資料

解説執筆

- 第1章 伊藤純（プロレタリア文化運動研究者）
- 第2章 鳥木圭太（立命館大学）
- 第3章 内藤由直（立命館大学）
- 第4章 木村政樹（青山学院大学他非常勤講師）
- 第5章 鴨川都美（久留米工業高等専門学校）
- 第6章 正木喜勝（学芸員・近代日本演劇史）
- 第7章 足立元（二松学舎大学）
- 第8章 武田悠希（武庫川女子大学他非常勤講師）
- 第9章 池田啓悟（立命館大学他非常勤講師）
- 第10章 雨宮幸明（日本映画・文学研究者）
- 第11章 泉谷瞬（大谷大学）
- 第12章 中谷いずみ（二松学舎大学）
- 第13章 立本祐之（大原社会問題研究所兼任研究員）

企画・構成

村田裕和（北海道教育大学旭川校）



2019年7月6日～8月18日 月曜（7月15日・8月12日を除く）・7月16・17日、8月13・14日休館
会場 市立小樽文学館 〒047-0031 小樽市色内1-9-5（日本銀行旧小樽支店金融資料館向かい）
電話 0134-32-2388

一般 300円（240） 市内高齢者・高校生150（120）円（ ）内は20名以上の団体割引料金
中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

協賛 法政大学大原社会問題研究所
協力 公益財団法人日本近代文学館・札幌大学・丸善雄松堂株式会社・六花出版株式会社
後援 小樽文学舎

●講演「駆け抜けていった人・多喜二の後ろ姿」 伊藤純（プロレタリア文化運動研究者） 7月15日（月・海の日）13時30分より
●プロキノ作品上映と解説『山本宣治告別式』『第12回東京メーデー』ほか（全6編） 足立元（二松学舎大学） 7月20日（土）17時30分より
●講演「再発見！昭和の大衆文化運動」 村田裕和（北海道教育大学旭川校） 8月10日（土）13時30分より
会場・市立小樽文学館1階研修室 7月20日は文学館2階フリースペース いずれも入場無料

この企画展は JSPS 科研費 JP18H00621 による研究成果の一部を公開するものです。

知られざる昭和の大衆文化運動

芸術が面白い！

70年

2019年7月6日～8月18日

月曜（7月15日・8月12日を除く）・7月16・17日、8月13・14日休館

会場 市立小樽文学館

〒047-0031 小樽市色内1-9-5（日本銀行旧小樽支店金融資料館向かい） tel.fax.0134-32-2388

一般300円（240） 市内高齢者・高校生150（120）円（ ）内は20名以上の団体割引料金
中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

- 講演「駆け抜けていった人・多喜二の後ろ姿」
伊藤 純（プロレタリア文化運動研究者） 7月15日（月・海の日）13時30分より
 - 上映会と解説「プロレタリア映画『山本宣治告別式』『第12回東京メーデー』ほか（全6編）」
足立 元（二松学舎大学） 7月20日（土）17時30分より
 - 講演「再発見！昭和の大衆文化運動」
村田裕和（北海道教育大学旭川校）
8月10日（土）13時30分より
- 会場・市立小樽文学館1階研修室
7月20日は文学館2階フリースペース 入場無料

協賛 法政大学大原社会問題研究所
協力 公益財団法人日本近代文学館
札幌大学
丸善雄松堂株式会社
六花出版株式会社
後援 小樽文学舎

企画展 いま

